

---

東京経済大学

地域連携センター

TKU Center for Regional Collaboration

**2017年度 年次報告書**

# C o n t e n t s

はじめに

地域連携センター 2017 年度年次報告書の発行にあたって・・・3

I. 地域連携センター・・・4

1. 事務体制について

2. 事業報告（2017.4～2018.3）

(1) 行事一覧

(2) 2018 年度事業計画

(3) 地域連携センター利用状況

(4) 情報発信

(5) 地域連携センター運営委員会開催状況

(6) 地域連携センターイベント

II. 地域連携（東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会）・・・25

1. 平成 29（2017）年度 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会  
事業報告

2. 国分寺周辺地域活動費助成事業報告

3. 学生の社会貢献活動に対する助成金事業報告

III. 産学連携・・・39

1. 多摩信用金庫

2. 西武信用金庫

IV. 学生の社会貢献活動・・・47

V. 国分寺市の主な行事・・・60



## 地域連携センター 2017 年度年次報告書の発行にあたって

東京経済大学地域連携センター（TKU Center for Regional Collaboration :CRC）は、本学の社会貢献および産官学の連携の窓口として、またそれらを促進していくための機関として設置されました。2015 年度に本学 1 号館 2 階に専用オフィスを開設し、2015 年 11 月より専任職員および臨時職員による常駐体制を維持しています。また、当センターの運営を審議する機関として地域連携センター運営委員会が設置されています。

本学は長年にわたり、生涯学習等において地域社会への貢献を続けて参りましたが、2004 年 10 月にはそうした方針をより明確にし、地域課題の解決をめざす研究や学生の地域参加を一層促進するため、国分寺市および国分寺市商工会の三者で相互に協力・連携する協定（東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会）を締結しています。同協定に基づいて、これまでまちづくりにかかわる共同研究やシンポジウムなどのイベント開催、ゼミやサークル単位での地域活性化等をめざした活動実践、「地域インターンシップ」や「学生の地域貢献」というユニークな授業運営などに取り組んできた経緯があります。

そのような長年にわたる地元の商工業者・行政との連携事業を通じて多くを学ばせていただいていた大学としてその重要性をあらためて認識し、学内の正式な一部署として「地域連携センター」が発足したということになります。当センターが学外との連携窓口として常設されたことで、学外からの連携事業の依頼も度々入ってくるようになり、センターの活動の幅は多方面に広がっています。センターがプラットフォームとなり地域の諸団体と協働して行うシンポジウムも毎年複数回開催するようになり、ますます社会的に認知される機会が増えたことで、連携事業の範囲は多摩地域全体へ、そして東京全域へと拡がりを見せています。

そうした学外のニーズと学内のステークホルダー（学生、教員、ゼミ、部・サークル等）をつないでいく常駐職員のインテークの役割は、ますます重要になっています。2017 年度からはあらたに特命講師を迎え、その体制を強化しました。

実学志向の高い本学にとって、地域社会および産官学の連携は今後一層深めていくべき事業の柱だといえます。本報告書にもページを割いて紹介していますのでご覧いただければと思いますが、2017 年度もさまざまな分野で学生・教職員が地域の方々や企業と連携し、社会のニーズに応える活動を展開しています。

末筆ながら、こうした活動を通じて、学生に“実践的な”学びの機会を提供して下さった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。当センターとしても社会と大学をしっかりとつないでいくパイプ役として、一層努力して参りたいと存じます。これからもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2018 年 3 月

地域連携センター運営委員長  
尾崎 寛直（経済学部准教授）

## I.地域連携センター

### 1. 事務体制

地域連携センター (TKU Center for Regional Collaboration) は 2015 年 11 月から窓口業務をスタートしました。常駐職員 2 名体制で、外部機関等及び本学教職員・学生からの情報収集ならびに双方への情報発信、シンポジウム・フォーラム・研究会などの準備・運営、本学教職員・学生の地域貢献・交流活動への支援を行います。1 号館 2 階にあり、本学教職員・学生が学外関係者とのミーティングなどに使用することもできます。

窓口時間：原則として、土・日・祝日を除く授業実施期間中の 9:00~17:00

U R L : <http://www.tku.ac.jp/renkei/area-center/>

#### ①管理業務

- ・オフィスの鍵・物品・資料等の管理
- ・予算管理、伝票処理
- ・文書管理
- ・文房具など消耗品の調達
- ・オフィスのゴミの処理

#### ②委員会等事務

- ・地域連携センター運営委員会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会運営委員会
- ・国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会
- ・その他、東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会に係る委員会

#### ③外部機関との連携窓口

- ・国分寺市役所 (市政戦略室など)
- ・国分寺市商工会
- ・多摩信用金庫
- ・西武信用金庫
- ・他大学の地域貢献・地域連携担当部署
- ・その他、地域連携関連の機関及び個人

#### ④学内での窓口業務

- ・教員への連絡・案内
- ・地域における活動をするゼミ生への連絡・案内
- ・学務課、キャリアセンター、学生課、広報課、国際交流課など他部署との連携・調整
- ・事務局会議等への報告

### ⑤事務作業

- ・学内外のイベント運営（シンポジウム、フォーラムなど）
- ・掲示物、看板等の作成・管理
- ・ホームページの作成・管理
- ・東京オリンピック・パラリンピック大学連携協定

#### 【センター入口】



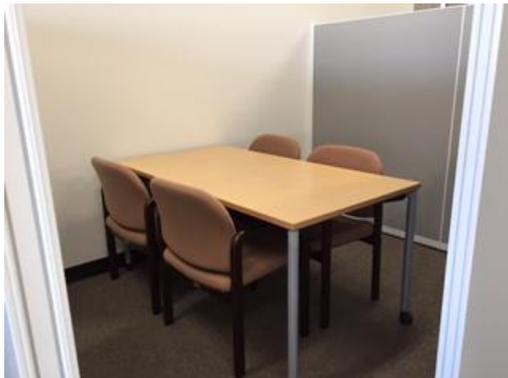
地域のイベント情報、ボランティア情報を発信しています。また皆様からの地域の情報もお待ちしております。お気軽にお越しください

地域連携に関するミーティング、打合せ・各種作業等で使用可能です。予約優先です。

#### 【室内スペース大】



#### 【室内スペース小】



地域連携に関する書籍、冊子などを揃え、貸出ししています。

## 地域連携センター使用に関する内規

### (目的)

第1条 この内規は、東京経済大学地域連携センター規程第2条に基づき、地域連携及び産学連携を目的とした地域連携センター（以下「センター」という。）の使用に関し、必要な事項を定める。

### (管理)

第2条 センターの管理は、地域連携センター運営委員会の下、総合企画部総合企画課が行う。

### (使用範囲)

第3条 センターの設備等の使用範囲は、次の各号のとおりとする。

- (1) 作業・ミーティング用テーブル
- (2) 打合せブース
- (3) 書庫（資料等保管用）
- (4) 物品収納スペース
- (5) 備付けの文房具

### (使用資格)

第4条 センターの使用資格は、次の各号の者とする。

- (1) 本学の教職員
- (2) 本学の学生
- (3) 本学が許可した者

### (使用日時)

第5条 センターの使用は、原則として土・日・祝日を除く授業実施期間中の午前9時から午後5時までとする。そのほかの日時での使用に関しては、必要に応じて個別に対応する。

### (使用手続)

第6条 センターの設備等を使用する際は、センター窓口で申請の上、許可を得るものとする。

2 第3条第1号及び第2号について、複数のグループから同日・同時間帯での使用申請があった場合は、申請順に使用を認める。10名以上で使用する場合には、あらかじめ日時・人数・目的等を申し出て予約することができる。

### (使用心得)

第7条 センターの使用に当たって、使用者は次の各号を遵守しなければならない。

- (1) 室内での飲食・喫煙禁止
- (2) 室内での騒音及び携帯電話・スマートフォン通話禁止
- (3) 機器・備品・物品等の室外持ち出し禁止
- (4) 第1条に規定する目的以外の使用禁止
- (5) その他公序良俗に反する行為の禁止
- (6) 整理整頓に心がけ、使用した機器・備品・物品等は元の状態・場所に戻すこと
- (7) 室内を清潔に保ち、使用後は清掃を行うこと
- (8) 教職員の指示に従うこと

2 使用者は、前項に規定する義務を怠り、故意又は重大な過失により設備・備品等に損害を生じさせた場合は、その損害を弁償しなければならない。

(使用禁止)

第8条 次の各号に該当する者には、センターの使用を禁止し、使用中でも使用を中止させることがある。

- (1) センターの秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼす行為をした者
- (2) 教職員の指示に従わない者

(賠償義務)

第9条 使用者の責に帰すべき事由により設備等に損害を与えた場合は、本学が損害額を認定し使用者が負担するものとする。ただし、本学がやむを得ないと認めた場合はこの限りでない。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、地域連携センター運営委員会及び大学運営会議の議を経て学長が行う。

付 則

この規程は、2015年（平成27年）11月26日から施行する。

## 2.事業報告

### (1) 行事一覧

#### ①委員会等

2017. 4. 26	第 22 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会運営委員会
2017. 5. 10	第 1 回 地域連携センター運営委員会
2017. 6. 2	第 16 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
2017. 6. 7	第 2 回 地域連携センター運営委員会
2017. 7. 28	第 25 回 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会
2017. 11. 22	第 3 回 地域連携センター運営委員会
2018. 3. 14	第 4 回 地域連携センター運営委員会
2018. 3. 26	第 26 回 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

#### ②シンポジウム、イベント等

2017. 4. 28	こくぶんじ市民活動フェスティバル参加
2017. 5. 31	キニョン東経大店 OPEN 鈴木ゼミが販売促進活動
2017. 6. 2	第 5 回 東京経済大学・国分寺地域連携フォーラム「都市農業 2.0」
2017. 6. 4	こくベジのじかん ボランティア活動
2017. 6. 28	知的財産を活用したビジネス創出（大学連携）キックオフ会
2017. 7. 6-7	第 1 回 CRC カフェ（ボランティア講座）
2017. 7. 14	グリーンプライド キックオフセレモニー
2017. 7. 28-29	Bunji Gloval Fasta2017 ボランティア活動
2017. 9. 12	知財活用ビジネス創出 第 1 回ブラッシュアップ会
2017. 9. 18	CELEO 寄席
2017. 10. 24	第 2 回 CRC カフェ（東経大名物パンプロジェクト）
2017. 11. 13	知財活用ビジネス創出 ブラッシュアップ会
2017. 11. 21	第 3 回 CRC カフェ（クラウドファンディングのいろは）
2017. 11. 22	武蔵村山市立雷塚小学校との交流授業
2017. 12. 12	中小企業講演会
2017. 12. 16	こくベジのじかん ボランティア活動
2017. 12. 26	知財活用したビジネス創出 第 2 回ブラッシュアップ会
2018. 1. 2	CELEO 新春寄席
2018. 1. 30	こらぼ de サロン

## (2) 2017 年度事業計画

### 1. 2017 年度の事業総括概要

東京経済大学地域連携センター（TKU-CRC。以下、センター）は、2016 年より専任職員 1 名、臨時職員 1 名の体制が整い、学外諸機関と学生・教職員の間の調整役として、学外から寄せられる各種の連携・学生派遣の要請を学内のゼミや学生団体・サークル、学生・教職員一般へ適切につないでいくインテーク業務を日常的に行えるようになった。また逆に、ボランティア参加や企業・社会との連携事業を希望する学生の相談を受け付け、適切な外部の機関とのマッチングを行う業務も増えてきている。

2017 年度からは、地域連携業務を担う特命教員を採用できたことにより、これらの対応機能の幅が広がり強化された。特命教員にはインテーク業務等の特命業務のほか、従来からの「学生の地域貢献」「地域インターンシップ」等、さらに特別授業として「実社会における問題解決力を鍛える」「商業活性化と地域再生」をあらたに開講していただいたことで、学生の地域参加の機会が格段に増えたことは大きな前進である。

センターが推進してきた事業としては、2016 年度には東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会（以下、地域連携推進協議会）とセンターが主催した地域連携フォーラムを 4 年ぶりに開催できたほか、地域金融機関との共同シンポジウムの開催や技術アイデアコンテストへの参加、国分寺市内の各種お祭り・イベントの開催協力（学生派遣、物品貸出、企画協力等）、などがある。

学内においては、CRC café（昼講座）を 4 回開催し、ボランティアやクラウドファンディング等のテーマで講師を招いて気軽に地域の活動に触れられる機会を設けてきた。毎回一定数の学生の参加が得られ、定着してきたといえる。

センターの広報活動としては、本学ホームページ上のセンター専用サイトの充実がはかられ、地域活性化・産学連携等の活動の成果が一覧できる状況になり、先行していた他大学の開示情報と比較しても遜色ないレベルになりつつある。また、昨年来続けてきた模造紙大の活動紹介パネルの掲示（センター前の学生ラウンジ脇、センター内）も定着しており、本学の学生地域参加を学内外にアピールする重要なツールになっている。さらに、こうした活動の実績をふまえ、地域連携センター紹介パンフレットのリニューアルを行った。

以上のように、センターの本格的な業務開始 2 年目の 2017 年度は、昨年来の地道な活動の定着とセンターの対応機能の拡大が実現した一年であったと評価できる。

### 2. 2018 年度事業計画案

前年度の実績をふまえ、2018 年度の事業計画の柱としては、①学生の地域参加の拡大、②産学連携の促進、③研究・活動成果の社会への還元・公表、④センターの自主的な活動の強化、が挙げられる。事業の具体的な内容は以下の通りである。

#### ①学生の地域参加の拡大

学生の地域参加（社会参加）は、大学としての社会貢献の意義のみならず、学生にとって学内では得がたい実践的な学びの場を提供することにもなり、現代的教育ニーズに応える試みといえる。その意味でも地域参加の学生数を増やしていく必要がある。前年度に参加の機会が拡大したとはいえ、実際に足を踏み出しているのはゼミ全体でいえば少数であり、一部の学生団体に留まっている。その改善のためにもインテーク業務および相談業務を強化していく。併せて教職員および学生の地域活動を促進するための助成費についても、より充実を図るとともに、効果的かつ機動的な予算のあり方を模索する。

#### ②産学連携の促進

企業・団体の抱えるニーズを大学側の研究シーズとして取り込み、課題解決に貢献することは教育研究両面から重要なテーマであり、その機会を一層増やしていくことが求められる。従来から連携している地域金融機関の提供する技術アイデアコンテストへの参加の他にも、個別のゼミ単位で地域企業・業界とマッチングし、コラボレーションしていく機会を増やしていく。こうした取り組みは国際化の観点からも重要になる。国際的な進出を進める地域企業との連携はもとより、在日外国人・外国人観光客の増加によるインバウンド効果を取り込むための企業戦略に学生が何らかのかたちで関われる機会を開拓する必要がある。この点では、2018年度より外資系企業の代表取締役を本学客員教授（経済学部）に迎えることから、促進が期待される。

#### ③研究・活動成果の社会への還元・公表

共同研究や協働事業の成果を報告するシンポジウムの開催をめざす。またセンター主催のシンポジウムについては年間2回程度行っていく。

なお、開催したシンポジウム等を報告資料として残していくことがこれまで十分ではなかった。今後関連予算（テーブル起こし代等）も確保し、活動・成果報告を掲載できる媒体（『(仮)地域連携センター研究双書』のような雑誌形式でも個別形式でもよい）を発行できるように検討したい。

#### ④センターの自主的な活動の強化

特命教員の就任により CRC café（昼講座）が定例化できるようになってきたが、実際ミニ講演を行う場合にもこれまでこうした費目の予算はなく、外部からのゲストに謝礼も出せなかった。昼講座に限らず、こうしたイベント開催は今後も増えてくることが予想されるため、大きなシンポジウムに限らず、講師費用などを出せるような費目を追加していく。

#### ⑤広報体制その他

これまで成果を上げてきているホームページ、学内グループウェア、活動紹介パネルによる広報活動は引き続き強化し、学生の地域参加の機会拡大をめざす。

活動の蓄積をふまえ、地域発展に関する補助金獲得も検討する。

### (3) 地域連携センター利用状況（2017年4月～2018年3月）

#### 【窓口運営体制】

地域連携センター運営委員会の下、総合企画部総合企画課が行う。

常勤の専任職員1名、臨時職員1名合計2名による対応。

開設時間：原則として授業実施期間中の月曜日～金曜日の9：00～17：00

使用資格：本学学生・本学教職員・本学が許可した地域関係者

#### 【センター利用者】

本学学生：ゼミ（演習等）所属学生

「学生と地域貢献」授業履修生

サークル活動（落語研究会、Clover 他）

学生地域活動有志グループ（こくスマ！実行委員会、わらしべプロジェクト）

ボランティア活動生（夏ボラ、他）

本学教職員：尾崎寛直先生、山本聡先生、長谷川倫子先生、渡邊龍也先生、

小木紀親先生、鈴木恒雄先生、福士正博先生、加藤みどり先生、

藤井博先生、青木亮先生、西下先生、小林健一先生、丸谷雄一郎先生、

神原理先生、野田淳子先生

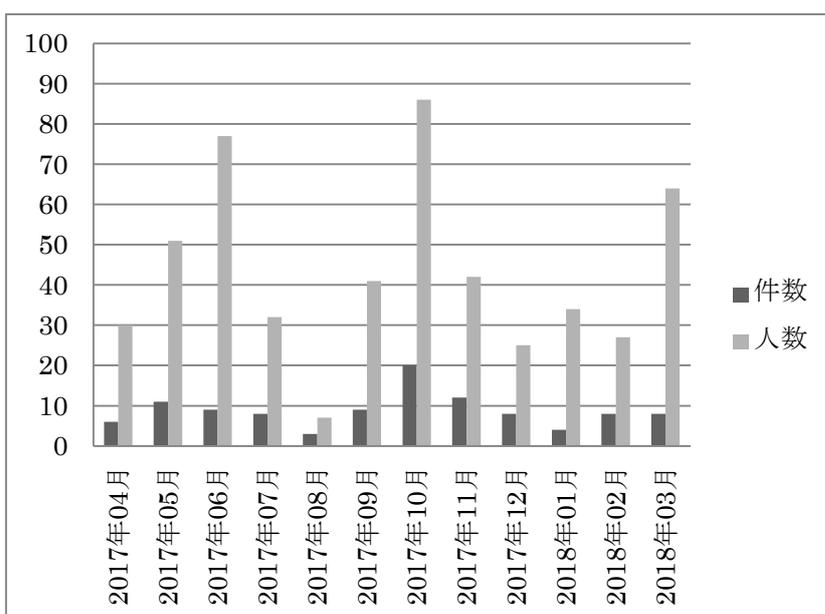
地域関係者：国分寺市、国分寺青年会議所、国分寺市商工会、武蔵村山市、東村山市、

立川市、福生市、多摩信用金庫、西武信用金庫、CELEO 国分寺、国分寺市

社会福祉協議会、ボランティア活動センターこくぶんじ、こくぶんじ市民

活動センター、JA 東京むさし農業協同組合等

#### 【利用件数および人数】



#### (4) 情報発信

##### ①TKU ポータル（学生向け）、サイボウズ掲示板（教職員向け）を利用した情報発信

年月日	カテゴリー	表題
2017.4.5	その他	ビジネスプランコンペティション開催！参加者募集
2017.4.13	オリンピック	「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」について
2017.4.14	地域情報	第11回こくぶんじ市民活動フェスティバル開催のご案内
2017.4.21	オリンピック	【ご案内】組織委員会ニュースレター「2020 たより」vol.4 発行のお知らせ
2017.5.8	ボランティア	国分寺市ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座のお知らせ
2017.5.10	その他	【募集！！】学生の社会貢献活動に対する助成金制度
2017.05.15	その他	国分寺地域連携フォーラム「都市農業 2.0」開催のお知らせ
2017.5.18	地域情報	こくベジのじかん、緑のギャラリーうおーく、縄文遠足のご案内
2017.5.24	地域情報	【募集】武蔵村山市給食看板デザイン募集
2017.5.26	オリンピック	「tokyo2020 学園祭」のお知らせ
2017.6.12	オリンピック	みんなで学ぼう！出張講座プログラム「学生が考えるアスリート飯」参加者募集について
2017.6.12	オリンピック	「みんなでつくる東京 2020 開会式・閉会式！」ご意見募集について
2017.6.12	オリンピック	東京 2020 大会のマスコットデザイン募集について
2017.6.19	その他	ボランティア講座&説明会開催のお知らせ
2017.7.5	その他	鈴木特別ゼミ×キニョンコラボ「東経大名物パンプロジェクト」アンケートについて
2017.7.5	その他	【第1回 CRC カフェ】ボランティア講座&説明会開催のご案内
2017.7.6	地域情報	【8/26 開催！】山本聡ゼミナール生、村山地域の歴史・文化のイベント開催のご案内
2017.7.6	地域情報	【9/2 開催】山本聡ゼミナール生、東大和市とコラボした食のイベント開催のご案内
2017.7.21	その他	地域連携センター夏季休暇期間スケジュール
2017.7.31	オリンピック	東京 2020 公認プログラム参加者募集のご案内
2017.8.28	地域情報	9/9(土)地域のお祭りのご案内
2017.9.5	その他	JUAA ビジネススクールシンポジウムのご案内
2017.10.2	地域情報	10月7日開催 養育家庭体験発表会のお知らせ
2017.10.18	地域情報	ぶんじハロウィン・国分寺まつり・ぶんぶんうおーく・国際交流フェスタのご案内
2017.10.17	その他	地域連携センター昼休み企画「CRC カフェ」開催！
2017.11.1	地域情報	11/19(日)開催 経営学部山本聡ゼミ×東村山市・豊島屋酒造・大善院 日本酒を使った化粧水作り体験
2017.11.7	地域情報	鈴木特別ゼミ生によるキニョン新作パン発売のお知らせ

2017.11.17	地域情報	11月18日(土)・19日(日)開催!ぶんぶんうおーく2017
2017.11.29	地域情報	【参加者募集】市長と語ろう!大学生世代ミーティング
2017.12.7	地域情報	12月16日(土)こくベジのじかん開催のお知らせ
2017.12.8.	その他	「中小企業講演会」(12/12火)のお知らせ
2017.12.12	その他	地域連携センター年末年始の開室案内
2018.1.15	地域情報	こらぼ de サロン 大学生と創る地域の力2018 開催のお知らせ
2018.2.8	地域情報	経済学部 鈴木恒雄ゼミ生の提案で立川駅前の社会実験が実現
2018.3.7	地域情報	cocobunji プラザ開会記念イベントに東京経済大学が参加
2018.3.18	その他	こくスマ!イベント開催にあたって不要品を回収します!

## ②ホームページ掲載情報

2017.4.28	学生の地域における活動	第11回こくぶんじ市民活動フェスティバル参加報告
2017.5.8	地域活性化に向けた活動	【6月2日(金)開催】東京経済大学・国分寺地域連携フォーラム「都市農業“2.0”」
2017.5.31	学生の地域における活動	キイニョン東経大店 OPEN!鈴木ゼミが販売促進活動
2017.6.7	学生の地域における活動	6月4日開催 こくベジのじかん ボランティア活動報告
2017.6.9	地域活性化に向けた活動	都市農業の活性化のためには何が必要なのか 第7回東京経済大学・国分寺地域連携フォーラム「都市農業“2.0”」が開催
2017.6.9	学生の地域における活動	尾崎ゼミ コラボ販売実践活動開始
2017.6.20	地域活性化に向けた活動	ボランティア講座&説明会開催のお知らせ
2017.7.10	地域活性化に向けた活動	ボランティア講座開催しました!
2017.7.21	その他	地域連携センター夏季休暇期間スケジュール
2017.7.28	学生の地域における活動	ボランティアサークル Clover も多数出席!街づくりサポーター組織「グリーンプライド」キックオフセレモニー開催
2017.7.31	学生の地域における活動	BunjiGlobal Festa2017 ボランティア活動
2017.8.4	学生の地域における活動	【8/26開催!】山本聡ゼミナール生、村山地域の歴史・文化のイベント開催のご案内
2017.8.4	学生の地域における活動	【9/2開催】山本聡ゼミナール生、東大和市とコラボした食のイベント開催のご案内
2017.8.28	学生の地域における活動	【8/26開催しました】山本聡ゼミナール御朱印班 村山×御朱印 【～御朱印で地域に愛着を～】
2017.9.4	学生の地域における活動	【9/2開催しました】山本聡ゼミナール東大和班 ひがしやまとの食の今昔物語 【～多摩の文化を味わい、知ろう!～】
2017.9.5	学生の地域における活動	秋の交通安全運動“市民のつどい”に劇団蜜蜂、ボランティアサークル Clover が参加

2017. 9. 11	学生の地域における活動	「多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション 2017」経営学部 2ゼミがエントリー 山本聡ゼミから 3 年連続！2 チームが本選出場！
2017. 9. 11	学生の地域における活動	南町二丁目町会お祭りでの地域貢献活動報告
2017. 9. 15	産業界との連携	西武信用金庫「知財を活用したビジネス創出（大学連携）」ブラッシュアップ会開催しました
2017. 9. 20	学生の地域における活動	落語研究会 CELEO 寄席開催しました！
2017. 9. 26	学生の地域における活動	鈴木ゼミ 立川南フェスタ「立川南ロワンダーランド」活動報告
2017. 10. 5	学生の地域における活動	尾崎ゼミ×IZUMI コラボ販売@国分寺マルイのお知らせ
2017. 10. 18	地域活性化に向けた活動	10 月 24 日開催！地域連携センター昼休み講座「CRC カフェ」
2017. 10. 24	学生の地域における活動	ぶんじハロウィン 2017 活動報告
2017. 10. 30	地域活性化に向けた活動	10/24 開催しました！地域連携センター昼休み講座「CRC カフェ」東経大名物パンアンケート結果報告
2017. 11. 1	学生の地域における活動	11/19(日)開催 経営学部山本聡ゼミ×東村山市・豊島屋酒造・大善院 日本酒を使った化粧水作り体験
2017. 11. 7	学生の地域における活動	第 34 回国分寺まつり活動報告
2017. 11. 16	学生の地域における活動	【本日開催】国分寺市×JA×生産者×大学生協×東京経済大学生コラボレーション企画「こくベジ」じゃがバター販売会
2017. 11. 17	産業界との連携	【12/15 開催】多摩の中小企業の経営者が語る 女性が働く環境の“今”と“未来”～女性が輝き続けられる地域を目指して～
2017. 11. 22.	地域活性化に向けた活動	11/21 開催！第 3 回 CRCcafe「クラウドファンディングのいろは」
2017. 11. 24	学生の地域における活動	ぶんぶんうおーく 2017 活動報告
2017. 11. 30	学生の地域における活動	南栄商店会 防災炊き出しボランティア活動報告
2017. 11. 30	学生の地域における活動	「キャリアデザイン実践」の講義で、武蔵村山市の小学生と「将来をともに描く」交流授業を実施
2017. 12. 15	産業界との連携	【12/12 開催しました】中小企業講演会
2017. 12. 19	学生の地域における活動	【12/16 開催】こくベジのじかん 活動報告
2017. 12. 19	学生の地域における活動	【12/7 実施】尾崎ゼミ コラボ実践販売活動
2017. 12. 20	産業界との連携	【12/15 開催報告】第 5 回 東京経済大学・多摩信用金庫 共同シンポジウム
2017. 12. 20	学生の地域における活動	本学学生が『市長と語ろう！大学生世代ミーティング』に参加し立川市長と意見交換
2017. 12. 21	学生の地域における活動	【読売新聞（多摩版）12/17】「多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション 2017」山本ゼミのチームが本選で優秀賞獲得
2017. 12. 21	学生の地域における活動	経営学部山本聡准教授とゼミ生が、東大和市観光事業プラットホーム運営会議に参加
2017. 1. 10	学生の地域における活動	1 月 3 日開催！落語研究会 CELEO 新春寄席

2018. 1. 31	その他	2017 コンペティション慰労会・知財を活用したビジネス創出壮行会開催しました
2018. 2. 1	学生の地域における活動	「こらぼ de サロン 大学生と創る地域の力 2018」開催報告
2018. 2. 4	学生の地域における活動	経済学部 鈴木恒雄ゼミ生の提案で立川駅前の社会実験が実現
2018. 2. 5	産業界との連携	経営学部山本聡ゼミのグループが予選を突破「知財を活用したビジネス創出(大学連携)」の事前審査会(予選会)が開催
2018. 2. 26	学生の地域における活動	立川南口炊き出しイベント開催報告
2018. 3. 8	学生の地域における活動	【予告 4/4】cocobunji プラザ会館記念イベントに東京経済大学が参加
2018. 3. 15	学生の地域における活動	【東京新聞(多摩版) 3/15】武蔵村山市で「給食の野菜育てています」と本学学生が看板をデザイン
2018. 3. 15	産業界との連携	経営学部山本聡ゼミが「知財活用スチューデントアワード」で優秀賞獲得!

### ③展示パネルでの情報発信

地域連携センター入口掲示板および地域連携センター内において、学生の活動の様子を中心にパネルにまとめて展示しました。



④地域連携センターパンフレット作成

地域連携センターの存在と活動内容を広く知ってもらうため、内容を更新してパンフレットを作成しました。



(5) 地域連携センター運営委員会 平成 29 (2017) 年度開催状況

会議	開催日時・場所	協議内容等
第1回	平成 29 年 5 月 10 日(水) 東京経済大学 地域連携センター	<p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『国分寺周辺地域活動費』の支出基準 改正について</li> </ul> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特命講師のオブザーバー出席について</li> <li>○ 2017 年度事業計画について</li> <li>○ 2017 年度「国分寺周辺地域活動費助成」の募集について</li> <li>○ 2017 年度「学生の社会貢献活動に対する助成金制度」の募集について</li> <li>○ 教学ビジョン「東経大チャレンジ 2020」ロードマップの検討について</li> <li>○ 私立大学等改革総合支援事業への対応について</li> <li>○ 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会・フォーラム開催について</li> <li>○ 2016 年度地域連携センター年次報告書について</li> <li>○ 各委員報告</li> <li>○ その他</li> </ul>

		「実社会における問題解決力を鍛える」(授業)でのアンケート調査について
第2回	平成29年 6月7日(水) 東京経済大学 地域連携センター	<b>【審議事項】</b> <input type="radio"/> 「国分寺周辺地域活動費」助成の選考について <input type="radio"/> 「学生の社会貢献活動に対する助成金」の選考について <input type="radio"/> その他 <b>【報告事項】</b> <input type="radio"/> 「東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会」協議会および地域連携フォーラム(6/2開催)について <input type="radio"/> 西武信用金庫との連携について <input type="radio"/> ボランティア講座&説明会開催について <input type="radio"/> 各委員報告 <input type="radio"/> その他 (1)連携事業の募集について
第3回	平成29年 11月14日(月) 東京経済大学 地域連携センター	<b>【審議事項】</b> <input type="radio"/> 2017年度の活動について <input type="radio"/> 2017年度予算要求(案)について <input type="radio"/> その他 <b>【報告事項】</b> <input type="radio"/> 地域連携センター主催シンポジウム について <input type="radio"/> 2016年度 地域インターンシップ成果報告会について <input type="radio"/> 地域連携センター窓口開設1年の報告 <input type="radio"/> 本学HPへの画面追加について <input type="radio"/> 各委員からの報告 <input type="radio"/> その他
第4回	平成30年 3月14日(水) 東京経済大学 地域連携センター	<b>【審議事項】</b> なし <b>【報告事項】</b> <input type="radio"/> 2017年度 国分寺周辺地域活動について <input type="radio"/> 2017年度 学生の社会貢献活動について <input type="radio"/> 地域連携センターシンポジウム実施報告 <input type="radio"/> 2018年度予算について <input type="radio"/> 各委員報告 <input type="radio"/> その他

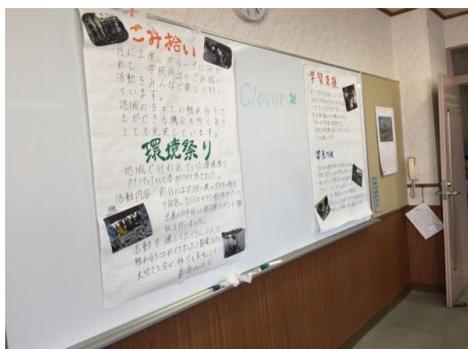
## (6) 地域連携センターイベント

### 1) 第11回こくぶんじ市民活動フェスティバル パネル展示

日時：4月23日（日）10：00～15：30

場所：ひかりプラザ

市民活動フェスティバルは、市が市民活動支援を目的として設立・運営する「こくぶんじ市民活動センター」の登録団体を中心に地域で活動をしている団体が、ひかりプラザを会場に日ごろの活動のPRや紹介のため開催するイベントです。地域連携センターではパネルの展示を行い、ボランティアサークル Clover は日頃の地域活動についての展示と説明をしました。そのほかの学生も、会場案内などのボランティアで活躍しました。



## 2) 第1回 CRC カフェ 「ボランティア講座&相談会」

日時: 7月6日(木)、7日(金) 12:15~12:55

場所: 1号館2階学生ラウンジ(地域連携センター前)

講師: ボランティア活動センターこくぶんじ 有馬 千佳氏、松村 麻衣子氏

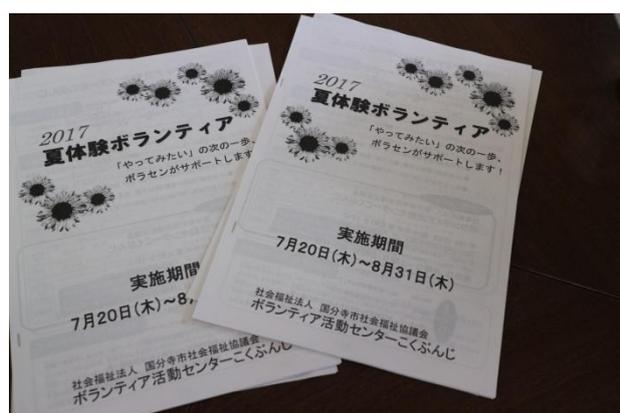
参加者数: 本学学生延べ32名

ボランティア活動センターこくぶんじが主催する2017年夏体験ボランティアについて、説明および相談会を開催しました。

昨年度に続いて2回目となるこの講座は、夏休みを利用してボランティアに参加し、興味を持ってもらうことを目的としています。今回は第1回CRCカフェとして地域連携センター横の学生ラウンジにて開催しました。

ボランティア活動センターこくぶんじの講師の方より、ボランティアについての基本的な説明やボランティアサークルCloverの体験談などがありました。

同日とも約15名の参加者があり、ボランティアについての知識を深めることができました。



3) 第2回 CRC カフェ 「東経大名物パンプロジェクト」

日時: 10月24日(火) 12:15~12:55

場所: 1号館2階学生ラウンジ(地域連携センター前)

講師: 鈴木恒雄特別ゼミ キニヨン班

参加者数: 本学学生 20名

10月24日(火)、地域連携センター昼休み講座 CRC カフェ「東経大名物パンアンケート結果報告会」が、地域連携センター前の学生ラウンジで開催されました。

鈴木恒雄特命講師より、CRC カフェ開催についてお話があり、その後、鈴木特別ゼミ生のアンケート報告会が行われました。

予算や性別、所属などから分析して新商品は「揚げパン」になることが発表されました。

約10名の学生と職員がお昼ご飯を食べながら、楽しく参加しました。



#### 4) 第3回 CRCカフェ 「クラウドファンディングのいろは」

日時: 11月21日(火) 12:15~12:55

場所: A301教室

講師: まちづくり立川

参加者数: 本学学生 20名

11月21日(火)、お昼休みの時間を利用して、第3回CRCcafe「クラウドファンディングのいろは」を開催しました。地域特化型クラウドファンディング「FAAVO」の多摩中央エリアを運営する「まちづくり立川」を講師としてお迎えして、クラウドファンディングのいろは、メリットなどについて教えていただきました。約20名の学生がお昼ご飯を食べながら参加しました。



#### 5) 地域連携センター×セレオ国分寺コラボ企画「CELEO 寄席」開催

##### ■ 第3回・・・9月20日開催

9月18日(月) 敬老の日、JR国分寺駅前の商業施設「CELEO 国分寺」の9階レストラン街中央スペースにおいて、落語研究会による「CELEO 寄席」が開催されました。

この「CELEO 寄席」はCELEO 国分寺と本学地域連携センターとのコラボ企画として昨年度より始まり、今回が3回目の開催となります。

当日は13時～、14時～、15時～の3部構成で、日頃の修練の成果を披露しました。毎回大勢の買い物客の方々に足を止めていただき、大変喜んでいただきました。



#### ■ 第4回・・1月3日開催

CELEO 国分寺と東京経済大学地域連携センターによる、コラボイベント「CELEO 新春寄席」が、1月3日(水)、セレオ国分寺 9階特設ステージにて開催されました。今回も落語研究会の学生がお正月から落語を披露してくれました。4回目となるこのコラボイベントですが、毎回大勢の買い物客の方々に足を止めていただき、大変喜んでいただいております。



#### 6) 武蔵村山市の小学生と「将来を共に描く」交流授業を実施

経済学部 藤井博特任講師の講義「キャリアデザイン実践」で2017年11月22日(水)、講義を履修する学生など11名が、武蔵村山市立雷塚小学校で同校の6年生児童65名とともに「東京経済大学×雷塚小学校 小学生の将来を共に描く(大学生編)」と題して交流授業を行いました。

この交流授業は、本学の武蔵村山キャンパスが近いことから、大学生との交流授業を行いたいとの雷塚小学校からの働きかけを「キャリアデザイン実践」を履修する学生たちが応えるかたちで実現。久保田拓馬さん(経済4年)、夏目真衣さん(コミュニケーション4年)が中心となり、小学生に大学生がどういう存在なのかを知ってもらい、将来の夢について考え、描き、語る時間を共有することを目的にセッションを計画しました。

当日は、小学生と給食を一緒に食べることから始め、打ち解けたところで交流授業をスタートしました。夢、仕事、学校生活などテーマごとに分かれたグループで話し合いが進められ、児童たちは、学生の話を中心に聴いてメモを取りながら、さいごにそれぞれの夢を語り模造紙に表現しました。

学生たちは、質問に答えながら児童一人ひとりに目を配り、発言しやすい雰囲気づくりを心がけました。給食をともにしたことで絆が深まり、交流授業が終了してからも別れを惜しむように児童たちが学生たちを囲んでいました。

学生たちからは「なかなか得られない貴重な経験だった」などの声が聞かれ、交流授業に

参加した児童からは「とても楽しかった」「すごくいい勉強になった。勉強のこと、将来のことについてしっかり考えられた」などの感想が寄せられました。

「キャリアデザイン実践」は経済学部学生だけではなく他学部の学生も履修可能な講義で、担当する藤井特任講師は「こうした交流によって学生の経験知が高まっていくので、今後、機会を頂ければ、継続して行っていきたい」と語っています。



#### 7) コラボレーションシンポジウム「こらぼ de サロン ～大学生と創る地域の力～」

**日 程： 2018 年 1 月 30 日(火)14:00～16:30**

**場 所： 国分寺 L ホール**

**講 師： 東京経済大学 経済学部特命講師 鈴木 恒雄**

1月30日（火）国分寺Lホールに於いて、地域連携センターとこくぶんじ市民活動センターとのコラボレーションシンポジウム 「こらぼ de サロン 大学生と創る地域の力 2018」を開催しました。

今年度は、鈴木恒雄経済学部特命講師を講師として、学生の地域における活動報告と取組紹介を行いました。続くグループディスカッションでは「地域活動に取り組む中で、お願いする側とお願いされる側、両方の本音を聞いてみよう！」「活動の中で感じたことや思ったこと」などをテーマとし、参加した市民の方々と学生がそれぞれの立場から意見を交わしました。

参加した方より、「学生と社会人の壁がなく、話ができて楽しかった。」「学生の一所懸命さに改めて感謝します。」などコメントをいただきました。

また、参加した学生は、「学生が感じていたことや、地域の方が感じていたことに差があるということがわかった。これからも続けていくことで学生と地域の距離も縮まると思う。」と感想を述べていて、学生にとって新たな気づきを得られる、貴重な会となりました。

東京経済大学地域連携センターコラボレーションイベント

# こらぼdeサロン 大学生と創る地域の力 2018

**地域** 東京経済大学  
ポランティヤサークル Clover  
能づくりサポート組織「グリーンプライド」  
「ポランティヤ活動と地域実」

**活動報告**

**飲食店** 東京経済大学 鈴木特許社  
キニヨン専攻大生×学生  
「東経大名物」パンの創出

**取組紹介**

**学生の本質、団体の本質**

地域活動に取り組み中で  
「もっと活動に力をつけたい」  
「もっと活動に力をつけたい」など  
お話しする者とお話しされる側、  
両方の本質を聞いてみよう！  
活動の中で感じた事や思ったことなどを  
みんなで共有しませんか？

**グループディスカッション**

平成30年1月30日（火）14時～16時半  
国分寺しホール（国分寺駅ビル8階）

参加費無料 ※申込締切：平成30年1月26日（金）

よくぶらじ市民活動センター

【お申込み・お問合せ】  
国分寺市東町4-1-9 本町クリスタルビル4階  
TEL: 042-008-3636 FAX: 042-008-3637  
E-mail: kcqpc@joem.home.ne.jp

東京経済大学



## II. 地域連携

### 1. 平成 29 (2017) 年度 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会 事業報告

#### 1) 協議会運営委員会

平成 29(2017)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 22 回	平成 29 年 4 月 26 日 東京経済大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員交代と委員会の構成について</li> <li>○専門委員会の平成 28 年度事業報告について</li> <li>○専門委員会の平成 29 年度事業計画について</li> <li>○協議会 (第 16 回) の開催について</li> <li>○地域連携フォーラムについて</li> </ul>

#### 2) 国分寺地域産業研究委員会

平成 29(2017)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
	開催なし	

#### 3) 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

平成 29(2017)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 26 回	平成 29 年 7 月 28 日 東京経済大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員の変更</li> <li>○2017 年度(平成 29 年度)前期事業報告及び後期事業計画</li> <li>○2017 年度「学生の社会貢献活動に対する助成金」受給団体選考結果について</li> </ul>
第 27 回	平成 30 年 3 月 21 日 東京経済大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員の変更</li> <li>○2016 年度(平成 28 年度)事業報告</li> <li>○2017 年度(平成 29 年度)事業計画</li> <li>○その他</li> </ul>

#### 4) 国分寺地域総合学習委員会

平成 29(2017)年度開催

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 23 回	平成 29 年 6 月 26 日 東京経済大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成 28 年度事業報告</li> <li>○平成 29 年度事業計画(案)について 協議・検討</li> <li>○第 36 回市民大学講座の充実にむけて</li> <li>○東京経済大学・国分寺市共催事業の在り方について</li> </ul>
第 24 回	平成 30 年 2 月 2 日 東京経済大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成 28 年度市民大学講座について(報告)</li> <li>○平成 29 年度事業計画(案)について</li> <li>○その他(前回議事録の確認ほか)</li> </ul>

## 5) 東京経済大学・国分寺地域連フォーラム

### 「都市農業“2.0”～新時代の都市農地の可能性～」

東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会主催による地域連携フォーラム「都市農業“2.0”～新時代の都市農地の可能性～」が、2017年6月2日(金)、大倉喜八郎 進一層館(フォワードホール)で行われました。会場には国分寺市長、国分寺市商工会会長はじめ協議会関係者、市民、学生等150余名の参加者が集いました。

今回のフォーラムは、都市農地は都市の中で緑地として重要な割合を占めているものの、実際には都市開発や後継者不足等の要因により、年々減少が続いている現状を踏まえ、地域住民と共に都市農業の存在意義や『農』ある街づくりとしての地域経済や地域コミュニティの活性化の可能性を考えることを目的に開催されました。

初めに野村亘氏(国土交通省都市計画課課長補佐)が「都市農地に関する制度改正と保全・活用に向けた方向性」の基調講演を行い、都市の農地を守る生産緑地制度の改正や田園住居地域の創設、また神戸でのファーマーズマーケットの事例を紹介しました。野村氏は「都市農業は都市住民と『農』を結びつけるもので、都市の文化に新たな魅力として『農』を取り入れていく必要がある」と語りました。

その後に行われたパネルディスカッションでは「都市農業の可能性を広げる開拓者たち」と題して5名のパネラーが登場し、それぞれの活動紹介を行いました。その中で、都市農地を活用して遊びの場や古民家を提供するプロジェクトを展開する「NPO法人くにたち農園の会」理事長の小野淳氏は「都市農地は環境保全、防災など様々な多面的価値を有している。そして『農』を文化にしていくために子どもたちを核につないでいきたい」と今後の抱負を語りました。

最後に閉会の挨拶を務めた堺憲一東京経済大学学長が「今回のフォーラムで都市農業に関わっている人の志、熱意、知恵、可能性が浮き彫りになった。今後の発展のためにこれらを活かしていくことが必要である」と述べフォーラムを締めくくりました。



## 2. 国分寺周辺地域活動費活動報告

### 1) 第 33 回本多公民館新緑祭りへ参加と、ゼミ展示会の開催

経営学部教授 青木 亮

2017 年 11 月 9 日(木)から 2017 年 11 月 12 日(日)まで

本年度は、国分寺市本多公民館にて、5 月 19 日から 21 日の 3 日間行われた新緑祭りへの参加と、11 月 9 日(木)から 11 月 12 日(日)の 1 週間を利用して実施したゼミ展示会を行った。

新緑祭りへの参加は、昨年度より本多公民館の方からお誘いを受けて実施することになった。前年度のゼミ展示会(住みたいと思える町、国分寺)の内容を再構成したパネル展示を行った。パネル展示と共に、前年度の 2 月頃から他の参加団体と協力してポスターの作成に取り組んだほか、前日と最終日には会場設営に協力した。参加団体の構成員に高齢者が多いこともあり、パネルや椅子、机の移動を伴う会場設営作業では、体力のある学生の参加は多くの方から喜ばれた。

11 月に行うゼミ展示会は、2006 年から継続しており、本年度は会場の都合から 11 月半ばの開催になった。今回は「繁栄する中央線と国分寺」をテーマに、中央線沿線の吉祥寺、立川、八王子と国分寺を道路網やバス路線、商工業地、鉄道の各方面から比較して、国分寺の発展可能性を分析した。市民を対象にパネル展示を行い、4 日間で 183 人の来場者に展示をご覧いただいた。

アンケート結果より展示会にこられた方の意見をみると、

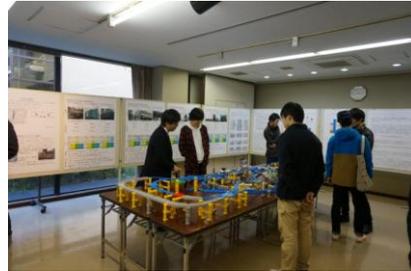
- ・近隣の駅比較は非常に面白かった。
- ・今後の国分寺の発展がどのようになっていくか興味を持つことができた。
- ・国分寺のあり方について考えるきっかけになった。
- ・プラレールの展示は子供も楽しめてよかった。
- ・写真の比較がわかりやすかった。

などの比較的好意的な意見を多くいただき、ゼミ活動の成果を地域に還元するという意味で、今年度も公民館でのゼミ展示会の開催は一定の成果を得られたと考える。一方で

- ・要点や出張をもっとわかりやすくしたらいいと思う。
- ・具体的な提案を望みます。
- ・一部のパネルは文字が小さかった。

など、展示内容や方法への改善意見もいただいた。これらについてはゼミの時間を利用してアンケート結果の報告を行い、学生へフィードバックした。来年度以降、展示内容の改善に役立てていきたいと思う。

現在、2018 年度(5 月開催予定)の新緑祭りに向け、準備を進めている。



## 2) Web サイト「国分寺物語」を活用した国分寺市の活性化

経営学部教授 小木 紀親

開催期間：2017年4月1日(土)から2018年3月31日(土)まで

- ①Web「国分寺物語」(<https://kokubunjimonogatari.com/>)の企画・運営・執筆・情報配信（およそ3日に一度、ゼミ学生による Facebook や HP を更新）を行い、もって国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした。
- ②常時、国分寺市役所と連携し、国分寺市の地域活性化に寄与し、地域貢献を果たした。たとえば、国分寺市の5か年のビジョンとなる『国分寺総合ビジョン』に参画した。
- ③Web サイト「国分寺物語」のシンポジウムを12月6日に開催し、国分寺市民の方々との交友を深めた。もって国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした。
- ④国分寺第2中学校において1年生の特別授業内でレクチャー（国分寺物語の取材方法及びこれまでの成果についてレクチャー）を行い、地域貢献を果たした。
- ⑤オープンキャンパス内で「国分寺物語」の活動を高校生及び保護者に発表した。
- ⑥国分寺市及び国分寺市観光協会主催「こくぶんじ写真コンクール」の審査員としての参加し、同コンクール内の「国分寺物語賞」の選考を行った（3月の表彰式にも出席）。
- ⑦国分寺市の祭り「ぶんぶんウォーク」にて、国分寺散策ルートマップの作成を行い、好評を得た。
- ⑧清水農園×JA むさしの×東経大生協×国分寺物語のコラボにより、こくベジ販売（じゃがバター販売）を学内でを行い、こくベジを学生及び大学関係者にPRする活動を行い、地域貢献を果たした。

¥



### 3) 商店街サポーター制度

経済学部特命講師 鈴木 恒雄

開催期間：2017年6月27日（火）から2018年2月9日（金）まで

#### 1. 実施概要

本学地域連携センターと国分寺駅北口商店会連合会組織において、商学連携による地域活動プラットフォームとなる「グリーンプライド」を当連合会組織下設立した。国分寺駅北口の商店会エリアにおける環境美化の啓発をその活動目的とし、活動に際して、市長へ趣旨説明を行い市の協力を取り付けた。

さらに活動主体となる本学ボランティアサークル Clover に活動ユニフォームとなるビブスを着用してもらい、7月から月2回（第2金曜日、第4火曜日・雨天中止）、商店会と Clover の協働による清掃活動を開始した。

#### 2. 成果

本件活動の周知を狙い、7月14日に市長をはじめ、商工会会長や市商店会連合会会長、北口商店会連合会、福士副学長を来賓に迎え、たましんホールにてキックオフ会を開催した。当会には Clover の学生 50 名に加え、行政関係者や商工会職員、マスコミなどが出席した。式典後、学生達は街なかに繰り出して、市長や市職員も加わり、駅前の清掃活動を実施して市民に PR した。

以降、毎回 Clover から平均 30 名から 50 名の学生が商工会エリアの清掃活動に参加している。毎回、回収したゴミは市から提供されたボランティア用ゴミ袋に分別し、当番の商店会が引き取っている。商店会の希望により、活動中の挨拶運動や下校中の小学生の見守り、除雪なども実施しており、地域の評判は良好である。

さらに、1月30日に市民活動団体向けのシンポジウム「こらぼ DE サロン」にてグリーンプライドの活動報告を行い、活動に賛同する市民団体の参加を呼び掛けた。

#### 3. 今後の展望

本件活動に地域生活者や商店主から挨拶されるようになり、地域に定着し始めている。都市再開発の完了に伴って来街者の増加が見込まれるため、環境美化を軸足に地域課題の多様性に着目しながら活動の拡充を図る。



#### 4) 音楽ボランティアによるゼミ生と特別養護老人ホーム利用者の社会的交流プログラム

現代法学部教授 西下 彰俊

2017年7月30日(日) から2018年1月12日(金)まで

2017年度中に5回、国分寺市内の特別養護老人ホーム「うれしのの里」を訪問し、交流も交えた演奏会を開催した。2017年7月31日、9月19日、11月6日、12月25日及び2018年1月12日の5回である。毎回午後に、うれしのの里を訪問した。

授業のない日を選び、ゼミ生が参加できる環境を整えた。西下ゼミには音楽に精通したゼミ生がおり、ゼミ生が中心となって懐メロや童謡を演奏した。西下およびゼミ生が老人ホームの入居者・デイサービス利用者の方々とカスタネットなど扱いやすい楽器を用いて、全員が参加できる演奏会を企画することができた。毎回合唱する楽曲を変えながら、高齢者の方々に「回想法」の効果が少しでも現れるように選曲した。毎回40名ほどの参加者を得ることができた。今年のうれしのの里は、介護職員の方も音楽ボランティアに参加していただいた。

また、メディア工房非常勤職員の古館氏にもボランティアに参加していただき、音源管理をしていただいた。

今年度の活動で特筆すべきは、地域包括支援センター職員の皆様とこの音楽ボランティアを媒介に連携できたことである。特に、認知症地域支援推進員の看護師の皆さんが、音楽ボランティアに参加していただけたことがきっかけとなり、小生の福祉論b及び高齢者福祉論bにおいて、「認知症サポーター養成講座」を開催することができた。受講生には認知症サポーターの証であるオレンジリングが手渡しされた。



## 5) 農福連携とスポーツを通じた障がい者の社会参加支援

経済学部准教授 尾崎 寛直

2017年5月1日(月)から2018年1月29日(月)まで

参加人数 本学学生・教職員：24名 一般市民：80人(スポーツ大会含む)

今年度の大きなトピックは、地元で親しまれてきたデパート大企業・国分寺マルイさんコラボ事業の「仲間」に加わってくれたことである。丸井社員の皆さんには、合同会議をはじめとして「障がいを語る会」、高尾山ハイクにも参加いただいたほか、一緒に販売実践にも加わっていただき販売のプロとして多くの刺激と学びを与えていただいた。さらに、国分寺マルイ店舗内での販売実践の機会をいただけたことは大きな経験と教訓を得るものであった。

それにより今年度のコラボ事業は、デモ販売や新商品開発等を統括する「どーむ班」(7人)の3グループに加えて、各班からの選抜による「マルイ班」(6人)の結成につながった。各リーダーが運営(計画づくりから予算の執行まで)の判断を行い、障害者センター・Ohana・丸井の各スタッフがそれぞれの班の担当として連携が深められた。

「どーむ班」では、施設の利用者である当事者の方々のあつまる「利用者会議」に出席させてもらうなかで、利用者の方々と密に交流し、当事者の率直な想いや生活模様を直接感じ取れたことはいろいろな気づきを得たといえる。「オハナ班」では、今年も夏のオープンキャンパス「女子カフェ」に提供するクッキー800個を利用者らと一緒に製造することにチャレンジしたほか、市役所の清掃、周辺道路の花壇の整備にもボランティアとして参加し、日常の就労の中から当事者の働く姿勢や喜びを感じ取ろうと努力してくれていた。「太陽班」では、昨年度のスポーツ中心の班から幅を広げ、利用者が日常活動で作る陶器やアクセサリなどの創作品の製作にも参画し、デモ販売の可能性についても検討してくれた。また秋のスポーツ大会では、全体の運営に関わったほか、独自の「卓上ホッケー」競技を自ら考案し、一緒に楽しみながら障害者スポーツの可能性について理解を深めてくれたように思われる。

このように、障害のある当事者が地域の中で「目に見える」形でスポーツなどの活動をしたり、彼自身が製造した製品販売の実践を通じて、地域社会における「ノーマライゼーション」の定着におおきく貢献できたと考えている。(また、これらの活動が大手新聞社の目にとまり、報道もされたことでパブリシティの観点からも大きな成果を得たといえる。)





## 6) 国分寺地域における武蔵野の里山保全活動

学務課 石原 融

2017年4月1日(月)～2017年2月28日(水)

参加人数 本学学生・教職員：1名 一般市民：18人

- ・企画内容 本学として、地域交流活動の活性化を支援するため、国分寺地域周辺で行われる地域連携・地域貢献活動としての自然を守る活動を行う。

武蔵野の自然についての講演会を開催し、自然保護の理解、普及に努める。

- 1) 1月27日(土) 本多公民館にて  
講演内容：「国分寺の用水、過去から未来へ」  
ミズモリ団 水越 てるみ 氏

- 2) 2月12日(月・祝) 本多公民館にて  
講演内容：「国分寺における武蔵野の里山保全活動」  
国分寺にふるさとをつくる会 理事長 白木 昭憲 氏

成果

考察：国分寺周辺の地域的条件や人の関連など少しではあるが分かってきた。

地域に存在する団体が数多く存在するが、その各団体の相互の結びつきがないことが分かった。今後大学として自然に対する各団体の交流拠点として企画を行っていく必要性を感じた。



### 3. 学生の社会貢献活動に対する助成金 実施報告

#### 1) 地域コンペティション挑戦チーム

##### ◆ 開催日時

12月16日(土)多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2017(本選)

2月1日(木)知的財産を活用したビジネス創出(大学連携)

事業審査会(地区予選)

3月5日(月)知財活用スチューデントアワード(本選)

##### ◆ 概要

西武信用金庫主催知財活用アイデア大会参加班に関して、開放特許である画像へのコード埋め込み技術を活用した「よみとる!じんとる!日本地図パズル」の提案を行った。この「よみとる!じんとる!日本地図パズル」は子供向けの知育玩具である。47都道府県の人口や面積によりポイントが割り振られている陣取りゲームであり、ポイントをスマホアプリが集計するしくみである。地区予選では優秀賞をいただき、本選に進んだ。

多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2017に関して、東大和班と御朱印班で出場した。

東大和班は、市民の若い人ほど定住意向が低く、その理由として愛着がないことが分かった。そこで、地域の特産品である「ひがしやまと茶うどん」と郷土食である「さつまだんご」などの粉食文化に着目し、これらを活用し調理体験イベントを行うことにより、地域活性化を目指した。東大和市を活動地として「ひがしやまと今昔物語」と題して調理体験を2回と歴史の展示会1回行った。イベントには東大和市以外の方々が参加してくださり、市内の歴史を教えるだけでなく教わるなど関係を築いた。多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2017では奨励賞を受賞した。

御朱印班は御朱印を企画の軸とし多摩地域の交流人口の増加を図り、地域活性化を目指した。活動範囲を村山地域(東村山市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町)として、『村山×寺×御朱印』と題して寺院にてイベントを2回行った。多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2017では優秀賞を受賞した。

##### ◆ 意義

西武信用金庫主催知財活用アイデア大会参加班に関して、知財を活用した日本地図パズルを今後、市区町村パズルへ応用をしていくことで地域貢献につながっていくこと。

多摩のまちづくり・ものづくりコンペティション2017の東大和班に関して、地域の粉食文化を味わうだけでなく歴史も理解してくれることで、地域に愛着を持たせ、定住意向を高め、地域活性化の一助となること。

御朱印班に関して、地域の特色を活かしたイベントを企画・開催することで、

交流人口増加による、村山地域を中心とした多摩地域活性化の一助となること。

◆ 広報の方法

多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション 2017 の東大和班の調理体験イベントに関して、東大和商工会・東大和市役所・東大和市ふれあい広場の方々に自作のチラシを配布、地域連携センターから、大学ホームページでもイベント情報をアップしてもらうなど、広報のご協力を頂いた。また、ゼミの Twitter アカウント等でも情報発信した。

御朱印班に関して、東村山市役所観光案内コーナーにてチラシの配置、東村山市大善院にてチラシ配りの場を設けて頂くなどのご協力を頂いた。SNS では、当ゼミの Twitter アカウントで広報を行い、東村山市市議会議員の渡辺英子様から Facebook にて情報発信をして頂いた。

◆ スケジュール

西武信用金庫主催知財活用アイデア大会参加班

日程	内容
8月30日	株式会社めるへん社へのヒアリング調査
9月13日	株式会社マツモトへのヒアリング調査
10月18日 12月11日 1月19日 2月16日	株式会社ハナヤマへのヒアリング調査
10月19日	株式会社テクノサイトへのヒアリング調査
1月17日	もとまち児童館へのヒアリング調査
2月20日	東大和市役所へのヒアリング調査
2月1日	地区予選（西武信用金庫本店）
3月5日	本選（信用金庫会館 京橋別館）

多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション 2017（東大和市班）

日程	内容
9月2日	第1回郷土料理調理体験（東大和市中央公民館） 26名参加
9月5日	選考会（明星大学）
11月23日	歴史展示会（東大和市ふれあい広場） 10名来場
11月28日	第2回郷土料理調理体験（武蔵村山キャンパス） 5名参加
12月16日	本選（昭和記念公園花みどり文化センター）

多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション 2017 (御朱印班)

日程	内容
8月26日	第1回イベント 荷葉会体験 in 大善院 14名参加
9月9日	選考会 (明星大学)
11月19日	第2回イベント 日本酒を使った化粧品作り体験 in 大善院 13名参加
12月16日	本選 (昭和記念公園花みどり文化センター)

◆ 当日の内容

郷土料理調理体験 (東大和市班) に関して、市の特産品の「ひがしやまと茶うどん」と長ねぎや大根などの地場野菜を合わせたかけうどんと、かつての郷土料理である「さつまだんご」を作ってもらい、現代風の食べ方としてフルーツポンチにして食べて頂いた。また、東大和市の歴史クイズを行い、東大和市に住んでいる方や東大和市周辺の多摩地域の方々に歴史・文化を知っていただいた。

御朱印班に関して、情報発信力の高い女性をターゲットとしたイベントを行うにあたり、東村山で著名な寺院である大善院にて御朱印を用いた体験イベントを開催した。当日にアンケートを行い、「また、イベントに参加したいか」という質問では、過半数を占める参加者から「また参加したい」という意見をいただき、今後も活動を続けていくことが期待できる。

◆ 所感

コンペティションを目標に今年度活動を行ってきた。地域資源や市野状況などを本や論文を活用して調査し、市や地域の特徴の理解に努めてきた。また、実際に市役所や商工会、お寺や企業、市民団体など様々なところに訪問させて頂いた。これらの体験を通して、イメージを形にしていく難しさや、普段では聞くことができないようなお話を聞くことができた。企画を進めるほど、どのような資源を活用するのかなどを考えていくうちに、学生ひとりひとりの地域への関心が高まっていった。関わった方から、お褒めの言葉だけでなく、時には厳しいお言葉やご指導があり、結果として、多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション 2017 でも御朱印班は優秀賞、東大和班は奨励賞を頂くことができた。多くの方のお力でかけがえのない経験が得られた貴重な1年であった。

【西武信用金庫主催知財活用アイデア大会参加班】



【東大和班】



【御朱印班】



## 2) 東京経済大学落語研究会

### ◆ 開催日時

2018年1月27日(土)

18:30 開場

19:00 開演

### ◆ 概要

「第八回葵名人会」と題して、国分寺市立いずみホールにて落語会を開催。落語研究会に所属の学生による落語を七席とプロの落語家である八代目春風亭柳橋師匠をゲストにお呼びした。

### ◆ 落語会の意義

東京経済大学落語研究会は国分寺市内の老人ホームや公民館などから依頼を受け、落語を披露しており、周辺地域の方々のおかげで貴重な発表の場をいただいている。またこうした落語会の際に、学生の発表にも関わらずたくさんの地域の方々が足を運んでくださる。

このように、日頃お世話になっている地域の皆様に恩返しすべく、この落語会を企画した。普段はなかなか見ることのできないプロの落語家をお呼びし、本物の伝統話芸に親しんでもらう機会になればよいと考えている。

### ◆ 広報の方法

- ・国分寺市内のお店に伺い、約1000枚のチラシを配布
- ・国分寺市内の町内会の回覧板でチラシを配布
- ・OBなどに葵名人会ご案内のメールで宣伝
- ・落語研究会公式アカウント (@TKU\_ochiken) にて宣伝
- ・落語研究会公式HP (<http://tkuochiken.jimdo.com/>) にて宣伝
- ・国分寺駅南側、西国分寺駅南北での朝日新聞折り込み広告
- ・学内でチラシを配布

### ◆ 当日のスケジュール

17:50	国分寺市立いずみホールに集合
18:00	開場準備、最終打ち合わせ
18:30	開場
19:00	開演
21:10	終演
21:20	会場撤去
21:30	解散

※当日来客数 70名

◆ 当日の演者と演目

七代目	大倉亭高笑雑	「新聞記事」
三代目	恋せ家おと女	「居残り佐平次」
	橘亭カレーぱん	「大工調べ」
八代目	春風亭柳橋	「蒟蒻問答」
五代目	葵亭蕎麦助	「狼講釈」
四代目	三遊間ヒット	「太鼓腹」
二代目	葵亭双葉	「慶安太平記」
	葵亭団十郎	「六尺棒」

◆ 所感

今年度はいずみホールの予約の都合上1月に開催した。今回は1、2年生の出演がほとんどであったが、アンケートの感想からクオリティの高い内容にできたと考えられる。しかし、当日は準備の不備により開演直前まで足りない備品の調達を行うこととなってしまった。今年度の反省を来年度に引継ぎ反省したい。

また、今年度は昨年度よりも少ない集客数になってしまったため、情報宣伝活動や開催時期の見直しを行いたい。

東京経済大学 落語研究会

落語名人会

八代目 春風亭柳橋 出演

東経大落研 現役生も多数出演!

平成30年  
 ☆日にち: 1月27日(土)  
 ☆場所: JR西園分寺駅 南口徒歩2分  
 いずみホール  
 ☆木戸銭: 無料  
 ☆開場: 18:30 開演: 19:00  
 終演予定: 21:00

連絡先: rakugo@tku.ac.jp



### Ⅲ.産学連携

#### 1. 多摩信用金庫

##### ①第5回 東京経済大学・多摩信用金庫 共同シンポジウム

標 題：「多摩の中小企業の経営者が語る女性が働く環境の“今”と“未来”」  
～女性が輝き続けられる地域を目指して～

日 時：平成29年12月15日（金）14：00～16：00

会 場：立川たましん事業支援センター（Winセンター）

#### 第一部 事例報告

##### 事例報告1

株式会社キャリア・ママ 代表取締役 堤 香苗 氏

##### 事例報告2

株式会社テイルウィンドシステム 代表取締役 迎 浩一朗 氏

##### 事例報告3

株式会社匠技建 代表取締役 宮崎 昭人 氏

#### 第二部 会場とのディスカッション

登壇者への質疑応答、参加者同士の情報交換ほか

【コーディネーター】

東京経済大学 経営学部 准教授 山本聡

12月15日（金）14：00～16：00、立川たましん事業支援センター（Winセンター）において、第5回 東京経済大学・多摩信用金庫共同シンポジウムを開催しました。当日は自治体のご担当者様、近隣の企業の方、本学経営学部山本聡ゼミナールの学生らが参加し、合わせて60名以上の方々にお越しいただきました。

今回のテーマは「多摩の中小企業の経営者が語る女性が働く環境の“今”と“未来”～女性が輝き続けられる地域を目指して～として、多摩地域の中小企業に焦点を当て、女性が働き続けられる環境や子育て支援に関する想いや創意工夫について、先進事例として3名の企業経営者の方にご講演いただき、その後、本学経営学部の山本聡准教授のコーディネートによる、パネルディスカッション形式の質疑応答を行いました。

事例報告において、株式会社キャリアママの堤香苗代表取締役は、1995年に設立した前身育児サークルPAOから現在までの変遷、時間軸をもとに、これまでの女性の社会的位置付けから積極的な女性活用時代への変化に対応して来たことの紹介や、女性の魅力を最大限に活用する裏技を具体例を出しながら分かり易くご講演されました。

株式会社テイルウィンドシステムの迎浩一朗代表取締役は、IT業界は全くの素人だったご自身が起業していくなかで、話し合いや意見交換を繰り返し、長期的な人財不足からの

脱却をはかる様々な仕掛け、働きやすい環境整備を積み重ねて今があることを語られました。

株式会社匠技建の宮崎昭人代表取締役は、住宅の設計・施工という男性職場にあって、女性が活躍できる環境づくりや、女性の感性を活かしたオフィスのディスプレイ事例を取り上げ、結婚、出産後も正社員として安心して働けることの効果とその必要性について語られました。質疑応答合わせて2時間の中で三者三様の熱い議論が展開され、女性が活き活きと輝き続けられる多摩地域の未来の姿について、思いを深めることができました。



## ②加藤みどりゼミ中小企業講演会

12月12日(火)、経営学部加藤みどり教授のゼミの授業を公開とし、中小企業講演会を開催しました。

講師には、本学と包括的連携協定締結先である多摩信用金庫より多摩地区の優良企業をご紹介いただき、そこで活躍されている若手マネージャーの方をお招きしました。日々の業務内容をはじめ、新規事業立ち上げ、大学生に必要なもの等についてご講演いただきました。

参加した学生からは、「これまでイメージでとらえていた大企業や中小企業の実態を知れたことがよかった。」「これから企業選びをする際に役立つ話だった。」など多くの感想が寄せられました。

中小企業で働くこと、大企業との違いなど知ることができ、これからの就職活動や大学生活において、貴重な機会となりました。

日時：2017年12月12日(火) 16:20~17:20

会場：F305 教室

講師：株式会社エムール

人事広報チームリーダー 兼 ペット事業リーダー

沢田 裕氏



### 中小企業講演会

・12月12日(火)・  
16:20~17:50・  
F305 教室にて。

多摩の優良企業が  
若手マネージャーに聞く  
「大学生に必要なもの」  
新規事業立ち上げの話も！

経営学部の加藤みどりゼミの授業を公開とし、  
中小企業講演会を開催します。  
履修授業優先。学部・学年不問。  
どなたでも参加できます。

中小企業で働く  
とは？  
中小企業って、  
どんなところ？

講演会について  
株式会社エムール ■ ペット事業リーダー  
伊藤 亜沙弥 さんの  
2016年度経営学部「加藤みどりゼミ」企業に訪問  
実証研究「長寿・長寿化と人口マシンの関係」を  
テーマに、中小企業への組織コンサルティングを通じて、  
経営・人事・マーケティングの視点から、中小企業に  
関する調査研究を進め、発表・報告発表となる。  
2016年10月に発表会がエムールに入社し、人事・広報  
チームリーダーの立場から、マーケティング、デザイン、  
システムなどの業務を担当。  
長寿化事業を通じて、ペット事業の立ち上げ、  
さらには経営者に貢献。

経営学部 加藤みどりゼミ × 多摩信用金庫

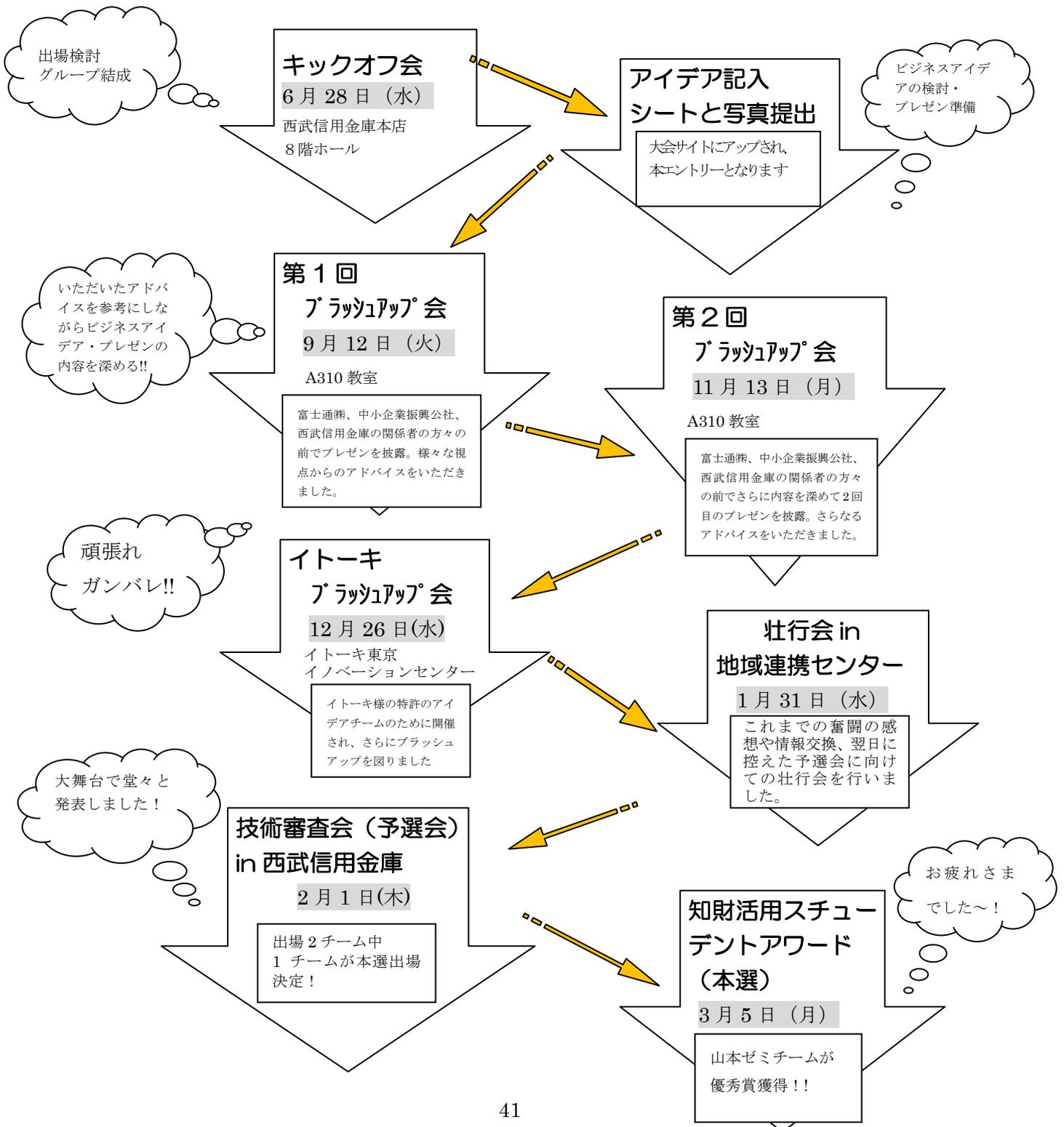
協力：地域連携センター

## 2. 西武信用金庫

### 「知財を活用したビジネス創出（大学連携）」

**「知財を活用したビジネス創出（大学連携）」とは？**  
<http://opi.innovations-i.com/idea/student/>  
 大学生が富士通株式会社の開放特許を活用した商品アイデアを考え、西武信用金庫など金融機関のサポートを受けながらブラッシュアップを図って競い合うもので、全国大会まで繋がっています。これまでの市場にない斬新な商品アイデアを創出し、知財財産を活用した商品開発の成功事例の実現を目指します。

#### 【全体の流れ】



## 参加チーム

### 【山本聡ゼミ】

活用特許名	印刷画像へのコード埋め込み技術
チーム名	チーム T.Y.Z 
グループ人数	7名
アイデア名	よみとる！じんとる！日本地図パズル
アイデア概要	日本地図パズルの地方ごとにコードを埋め込み、コードを読み取ることで、様々な情報を映像や音声で得ることができる。また、陣取りゲームとしても楽しむことができる。アプリと連動できる日本地図パズル！

### 【北村真琴(神原理)ゼミ】

活用特許名	ハンガーを利用した非接触給電
チーム名	さんたろう 
グループ人数	3名
アイデア名	シーゾナルツリー
アイデア概要	二次的な効果としてオーナメントに様々な効果をつけることで毎シーズン飾れるシーゾナルツリーを提案する。利用の幅が広いことから様々なシーンでのビジネスチャンスを狙うことが可能である。

## ● スケジュール

### ・キックオフ会

日時：6月28日（水）15：00～18：00

場所：西武信用金庫本店8階ホール

参加者：①関係機関 東京都中小企業振興公社、株式会社ノーズフー、西武信用金庫

②知財提供企業 富士通株式会社、株式会社イトーキ

③大学 亜細亜大学、嘉悦大学、東京経済大学、法政大学、目白大学

内容：関係者紹介、特許の説明、質疑応答

### ・アイデア記入シートと写真の提出

キックオフ会で説明を受け、参加を決めたチームはアイデアシートと写真を提出。アイデアシートは西武信用金庫知財活用専用サイトにアップされることでエントリーとなる。本学は2チームエントリーしました。

### ・第1回ブラッシュアップ会

日時：9月17日（火）15：30～

場所：A310 教室

アドバイザー：・富士通株式会社

法務・コンプライアンス・知的財産本部

知的財産イノベーション統括部 三原雄一氏

・西武信用金庫

業務推進企画部 進行役 和田夏彦氏

・中小企業振興公社

東京都知的財産総合センター

製品化コーディネーター 木村勝己氏

第1回目のブラッシュアップ会として各チームのビジネスアイデアを披露、これに対してご来校いただいた富士通、中小企業振興公社、西武信金の方々から多くのアドバイスをいただきました。ゼミ生たちは様々な視点からの指摘に真剣に耳を傾けていました。



## ・第2回ブラッシュアップ会

日時：11月13日（月）16：30～

場所：A310 教室

アドバイザー：・富士通株式会社

法務・コンプライアンス・知的財産本部

知的財産イノベーション統括部 三原雄一氏

・西武信用金庫

業務推進企画部 進行役 和田夏彦氏

・中小企業振興公社 東京都知的財産総合センター

製品化コーディネーター 木村勝己氏

各チームの1回目のブラッシュアップ会からさらに内容を深めたビジネスアイデアをプレゼンテーションし、これに対して、富士通、中小企業振興公社、西武信金の方々から前回に引き続き、多くのアドバイスをいただきました。



## ・イトーキブラッシュアップ会

日時：12月26日（月）15：00～

場所：イトーキ東京イノベーションセンターSYNQA

アドバイザー：株式会社イトーキ

## ・知財活用ビジネス創出(大学連携)壮行会

日時：1月31日（木）12：15～13：00

会場：地域連携センター

この長期にわたるプログラムに挑んだ学生の皆さんと関係者の方をお招きし、これまでの奮闘の慰労会を開催しました。参加した皆さんで、この活動における情報交換や報告、翌日に控えた予選会の激励を行いました。



## ・知財を活用したビジネス創出（大学連携）事業審査会（予選会）

日時：2月1日（木）

場所：西武信用金庫本店 8階ホール

5大学（亜細亜大学、嘉悦大学、東京経済大学、法政大学、目白大学）

14チームが参加し、その結果、山本聡ゼミ生のグループ【チーム名：チームT.Y.Z 活用知財：印刷画像へのコード埋め込み技術（富士通）】が他3チームとともに、3月5日（月）開催の「知財活用スチューデントアワード」への進出を決めました。スチューデントアワードには各地の予選会を勝ち抜いた10大学11チームが出場します。



## ・2017年度 知財活用スチューデントアワード

日時：3月5日（月）13:00～

会場：信用金庫会館京橋別館

東京都中央区京橋 3-8-1 信用金庫会館京橋別館

学生が開放特許を活用して既存市場にない斬新な商品アイデアを創出することを目的とした「知財活用スチューデントアワード」が信用金庫会館京橋別館（東京都中央区）で行われ、東京経済大学からは経営学部の山本聡ゼミのチーム「T.Y.Z」が出場し、優秀賞を獲得しました。

本大会は東京・埼玉・静岡・長野から11チームが参加し、チーム「T.Y.Z」は、富士通株式会社の「印刷画像へのコード埋め込み技術」を活用し、「よみとる！じんとる！日本地図パズル」というスマートフォンを利用した知育玩具のアイデアを発表しました。

「よみとる！じんとる！日本地図パズル」はスマートフォンの専用アプリで出されたお題

に沿って赤・青の都道府県のパズルピースを奪い合う陣取りゲームです。お題は人口や降水量など学校の勉強に役立つ内容で、アプリ内のデータは随時更新され、最新のデータとなるため、既存のパズルや知育玩具よりも優位性があります。

発表後、審査員からは「富士通が持つ技術の活用の仕方が面白く感心した」と評価されました。発表メンバーである久下智士さん(経営2年)は「まさか優秀賞が取れるとは思っていませんでしたので、驚いている」、笹原美穂さんと林史佳さん(いずれも経営2年)は「何度も挫折し大変だったが、こうして評価してもらえて嬉しい」と笑顔で喜びを語りました。

アワードを振り返って山本准教授は「来年度以降もこのような活動を継続していきたい。こうした活動に興味のある人はぜひ山本ゼミの活動をみにきてほしい」と語りました。



#### IV. 学生の社会貢献活動



##### ●尾崎ゼミコラボ販売

国分寺市障害者センタースイーツ IZUMI と NPO 法人 Ohana とコラボをし、生協販売、葵陵館前でのデモ販売やぶんぶんウォークなど地域のイベント、丸井店舗での販売活動を行ないました。

##### 葵陵会館前デモ販売実施日程

- ①2017年5月11日
- ②2017年6月8日
- ③2017年7月13日
- ④2017年10月19日
- ⑤2017年12月7日

##### 国分寺丸井1階催事コーナーでの販売実践

2017年10月1日～10月15日





● キニヨン東経大店 OPEN！鈴木特別ゼミが販売促進

5月31日(水)東経大葵陵会館内にキニヨン東経大店がオープンしました。

鈴木特別ゼミでは、学習の場として市場調査など行い、キニヨンの販売活動に協力しました。

また、11月20日に学内でのアンケートを元にキニヨンとコラボして、新商品のくるりんあげぱんを発売しました。東経大名物パンとして、人気のパンとなりました。



**東経大名物パンの開発**

みんなでオリジナルのパンを作ろう！！

鈴木特別ゼミとパン屋キニヨンがコラボします！！

Think HAPPY be HAPPY  
東京経済大学 鈴木特別ゼミ

てーくり/パン、ヌーコンのお店  
パン屋 **キニヨン**

Twitterもやっています！  
@quignon\_tokai  
で検索！





## ● こくベジのじかん ボランティア活動

国分寺生まれの野菜「こくベジ」のマルシェが6月4日(日)と12月16日(土)、都立武蔵国分寺公園で開催されました。

当日は晴天に恵まれ、農産物、こくベジメニュー・地元雑貨など国分寺ブランド販売、観光PR、ミュージック演奏、ワークショップなどが行われ、エコキャンパスゼミ、経営学部小木ゼミの学生たちが、会場設営や案内の仕事などで活躍しました。





## ● Bunji Global Festa2017 ボランティア活動

都立武蔵国分寺公園に於いて、7月28日・29日、国分寺青年会議所主催の「Bunji Global Festa 2017」が開催されました。

国際交流を目的としたイベントで、今年も各国の料理店の出店や、やぐらステージなどで盛り上がりました。

キッズ向けの遊び体験や会場設営等で、多くの学生がボランティアで活躍しました。





- 秋の交通安全運動“市民のつどい”に劇団蜜蜂、ボランティアサークル Clover が参加

9月3日(日)、小金井宮地楽器ホールにて小金井警察署・小金井警察署内交通安全協会主催による「秋の交通安全運動 市民のつどい」が開催されました。

この催しで、本学の劇団蜜蜂が、高齢者の自動車運転免許証の返却を取り上げた交通安全演劇を披露し、ボランティアサークル Clover のメンバーが開催にあたって運営協力をしました。

イベントの最後には、両団体に対し、小金井署より一連の活動に対する感謝状が送られました。



- 南町二丁目町会お祭りでの地域貢献活動報告

9月9日(土)・10日(日)の2日間に亘って行われた、南町二丁目町会内のお祭りに、本学の正課授業である「学生の地域貢献」の履修生が事前打ち合わせから参加し、当日は朝の会場設営や物品販売などで活躍しました。





● 鈴木特別ゼミ 立川南フェスタ「立川南口ワンダーランド」活動報告

9月23日(土)に「立川南口ワンダーランド」が開催され、鈴木恒雄特別ゼミが参加しました。「立川南口ワンダーランド」は立川南口の商店会を3つのエリアに分け、それぞれの特色を活かしたイベントを開催、立川南口に賑わいと安らぎを創出し、当日は秋晴れの中、大勢の観客が集まり大賑わいとなりました。鈴木ゼミ生9名は本部受付で、案内やスタンプラリー、お菓子のつかみどり、アンケートの配布、回収などに協力しました。



## ● ぶんじハロウィン 2017 活動報告

10月22日(日)、第4ぶんじハロウィン2017が開催されました。

国分寺北口商店街において、スタンプラリーや仮装コンテストなどが行われるハロウィンイベントです。今回は悪天候のため、多摩信用金庫国分寺支店コミュニティホールに会場を移して行われ、仮装した多くの来場者で賑わいました。

当日は「学生の地域貢献」授業の履修生が企画したワークショップを運営し、ボランティアサークル Clover、放送研究会の学生が仮装コンテストの手伝いなど様々な形で活躍しました。



## ● ぶんぶんウォーク 2017 活動報告

11月18日(土)、19日(日)に「ぶんぶんウォーク2017」が開催されました。都立武蔵国分寺公園周辺において60をこえる様々な企画が開催されるイベントです。東経大生はイベントの受付、ガイド、東経汁の販売、スイーツの販売などのボランティアで活躍しました。





## ● 国分寺まつり ボランティア活動

11月5日(日)、都立武蔵国分寺公園に於いて、第34回国分寺まつりが開催されました。当日は天候にも恵まれ、5万人を超える来場者で賑わいました。

東経大の学生は迷子・落とし物アナウンスや模擬店でのお手伝い、会場運営などさまざまに活躍しました。写真中段の菅井彩花さん(コミュニケーション学部コミュニケーション学科 2年)、竹井栄梨さん(経営学部流通マーケティング学科 2年)の2名は、昨年にかけて2回目、パレード団体紹介のアナウンスを担当し、好評を博しました。





## ● 南栄商店会防災炊き出しボランティア

11月25日(土)南町ひだまり公園に於いて、国分寺南栄商店会主催、第6回防災炊き出しが開催され、とん汁 500 食・非常食 300 食が地域の方にふるまわれました。

東経大ボランティアサークル Clover から5名が参加し、準備設営や配布作業などを行いました。また国分寺市イメージキャラクター「ホッチくん」に扮して、会場を盛り上げました。





- 「市長と語ろう！～大学生世代ミーティング～」に参加し、立川市長と  
意見交換

2017年12月9日(土)立川市役所で、立川市が主催する大学生世代を対象とした市長との意見交換会『市長と語ろう！～大学生世代ミーティング～』が開催され、本学経済学部鈴木恒雄特別ゼミの学生4名が参加しました。

立川市は、将来にわたって住みよいまちをつくる施策を進めており、清水庄平立川市長がさまざまな世代等と意見交換会を行っています。今回の意見交換会で、鈴木ゼミの学生は、市民が安らげる場の確保と防災設備の増強の両立が可能な“老朽化したベンチを防災ベンチに変える”ことを提言しました。

参加したゼミ生のひとり「これまでもゼミ活動で立川市へ事業提案を行っているが、今回は、わたしたちの提言に一定の評価をいただいたのでとてもうれしい」と感想を語りました。



- 経済学部鈴木恒雄ゼミ生の提案で立川駅前の社会実験が実現

立川市でまちづくり活動をしている鈴木ゼミ生による提案で、立川駅南口のモノレール軒下に防災ベンチを2基設置し、駅前デッドスペースの有効活用を試みる社会実験がスタートしました。今月24日までの設置期間中、ゼミ生はアンケートを実施して来街者の意見や反応を調査を行いました。鈴木ゼミでは希薄化する地域コミュニティの復活を狙い、「共助」をベースとした人の繋がりを企図して『防災ベンチ設置プロジェクト』を旗印に掲げ、立川市内におけるベンチの設置状況を調査してきました。今回、立川南口まちづくり会社をはじめ、立川南口商店街連合会や立川南口まちづくり協議会の協力を得て実現しました。以前から「駅前に休むスペースがない」「駅舎の下が暗い」といった来街者の声もあって、防災ベンチの他、植栽や照明も設置してちょっとした憩いスペースが駅前の繁華街に出現しました。

最終日には、実際に防災ベンチを使用して炊き出しイベントを開催しました。当日はたましん南口店様より、駐車場をお借りして会場とし、炊き出し用アルファ米、山菜おこわ 100食分を調理し、災害救助クラッカー250食分、マシュマロ140人分を配布しました。

ゼミ生は来場者アンケートに加え、実際にアルファ米による炊き出しを体験しました。

今回、ゼミ生による提案を契機に、立川南口商店街連合会では、災害に強い街づくりや街中に憩い空間(ベンチ設置)の創出、公園のベンチを綺麗な物に代えていきたいとの思いで社会実験を行いました。

【アンケート日程】

- ① 2月1日(木) 13:00~17:00
- ② 2月10日(土) 13:00~18:00
- ③ 2月15日(木) 13:00~18:00
- ④ 2月18日(日) 13:00~18:00
- ⑤ 2月24日(土)炊きだしイベント 11:00~14:00





- 武蔵村山市で「給食の野菜 育てています」と本学学生が看板をデザイン

本学武蔵村山キャンパスのある武蔵村山市では、学校給食で地場産の食材が使われていることを広く知ってもらうようと、市内の農地23カ所に「学校給食用農産物栽培農地」の看板を設置しました。2018年3月15日(木)付け東京新聞(多摩版)の、この看板設置を知らせる記事の中で「同市内にキャンパスがある東京経済大の学生がデザインを担当」と紹介されました。記事では、市の職員とともに本学学生が畑に看板を立てるようすの写真も併せて掲載されています。



## V. 国分寺市の主な行事

イベント・行事	実施日	場所
市民活動フェスティバル	4月	国分寺市市民活動センター
万葉花まつり	4月下旬	武蔵国分寺跡 他
社協ふくしのつどい	6月	国分寺市社会福祉協議会
本多公民館新緑まつり	5月	本多公民館
もとまちファミリー運動会	6月中旬	小学校体育館
こくベジのじかん	3月・12月	都立武蔵国分寺公園
Bunji Global Festa	7月	都立武蔵国分寺公園
はあとふるまつり	8月	恋ヶ窪商店会
ぶんじハロウィン	10月	東栄会
スポレクまつり	10月中旬	市民スポーツセンターなど
国分寺まつり	11月第1日曜	武蔵国分寺公園ほか
ぶんぶんウォーク	11月頃	武蔵国分寺公園ほか
国分寺環境まつり	12月上旬	国分寺市清掃センター



**東京経済大学 地域連携センター**  
**東京都国分寺市南町 1-7-34**  
Tel: 042-328-7950  
Fax: 042-328-7949  
Mail: [crc@s.tku.ac.jp](mailto:crc@s.tku.ac.jp)